



意義や価値を実感できる校長会を目指して

新潟県小学校長会 会長 藤本 高雄

豊かな自然に囲まれ、歴史ある街並みの新発田市において、令和8年度新潟県小学校長会代議員会新発田・胎内・聖籠大会を開催できますことを嬉しく思います。これまでご準備いただきました新発田北蒲郡市・胎内市校長会の皆様に心より感謝申し上げます。

令和6年末に文部科学大臣諮問があり、令和7年9月に中央教育審議会より論点整理が示されました。現在は、「教育課程部会の各ワーキンググループ」「教師を取り巻く環境整備特別部会」をはじめとする様々な部会等で次期学習指導要領の改訂に向けた議論が進められています。今後、これらを経て、令和8年度中に「答申」が示され、学習指導要領の改訂となる見通しです。また、令和7年には給特法の改正が約50年振りに行われました。これら学校教育を取り巻く一連の流れをみると、教育現場において、これまでにない大きな動きがあるように感じます。

この今ある大きな動きに対して、校長一人でもよりよい方向を見出すには難しさがあります。だからこそ、校長会のつながりにおける情報共有・交換が大事になると考えます。文部科学省の最新情報やそれに対応する各都道府県・市町村の動き、さらには各校での対応や取組。様々な情報が必要な場面で、郡市・市町村校長会、県小学校長会、関東甲信越地区小学校長会連絡協議会、全国連合小学校長会など、様々な単位の組織において、有意義な情報共有・交換が実現することで、よりよい方向が見出されます。このことが、校長会という組織の意義や価値の1つだと考えます。

新潟県小学校長会においては、昨年度に引き続きいて令和8年度も、「つながる」「学び合う」「活かす」をキーワードに各事業の取組を進めていきます。「同じ市町村の中で、さらには市町村を越えて会員同士がつながること」「学び合う機会となるよう、“各校での取組”や“教育に関する最新の情報・動向”の共有化を大事にすること」、そして、昨年度末に課題として示した「各事業が学校現場の改善・充実にもっと活かされるようにすること」の3点を大切に、会員一人一人が、校長会の様々な意義や価値を実感できるように努めます。

新潟県小学校長会には様々な事業がありますが、その最終的な目的は、その学校らしさが輝く「魅力ある学校づくり」に役立つことだと考えます。学校が、子供たちや保護者・地域にとって魅力ある場となること。そして、教職員にとっても魅力ある職場となること。このことは、次期学習指導要領の改訂の方向性に通じると考えます。「つながる」「学び合う」「活かす」を大切にしながら各事業の充実を図り、県下全域の小学校において、その学校らしさが輝く「魅力ある学校づくり」が具現されるよう、積極的な取組を展開していきます。

他方、学校の統廃合が進む現状を踏まえ、学校数減少を見据えた持続可能な県小学校長会の組織・運営等の改善に取り組む必要があります。令和8年度は、今後の県小学校長会の在り方を検討し、方向性を定めていきます。

本日の代議員会を経て、新潟県小学校長会は令和8年度の活動を開始いたします。全国連合小学校長会及び関東甲信越地区小学校長会連絡協議会、新潟県中学校長会等との緊密な連携のもと、小学校教育の充実、魅力ある学校づくりの具現に向け、取り組んでいきます。

結びに、日頃よりご指導いただいております新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県中学校長会、並びに様々なご支援をいただいております関係団体の皆様に心より感謝を申し上げ、新発田・胎内・聖籠大会のあいさつといたします。